

《履修上の留意事項》・私語等の授業の妨げとなる行為は厳禁とする。注意に従わない場合は教室からの退出を指示する場合があります。
 ・出席カードの不正には厳正に対処する。
 ・講義の進展等により学習内容が変更となる場合がある。

《担当者名》川勾 亜紀奈（非） a-ito@hokusei.ac.jp

【概 要】

現代社会における社会保障にかかる諸制度や体系、財政の仕組み等を理解し、諸外国の社会保障制度の理解のもとでわが国の社会保障の課題や今後の在り方について考える。

【学修目標】

- ① 社会保障の概念や対象およびその理念を説明できる。
- ② 現代社会における社会保障制度の役割と意義、取り組むべき課題について説明できる。
- ③ 社会保障制度の財政について説明できる。
- ④ 公的介護保険制度と民間保険制度の関係について説明できる。
- ⑤ 社会保障制度の体系と概要について説明できる。
- ⑥ 諸外国における社会保障制度を概説できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 社会保障制度の概要	私たちの生活と社会保障の現状について概説できる	川勾
2	現代社会における社会保障制度の現状①	人口動態の変化について説明できる	川勾
3	現代社会における社会保障制度の現状②	経済環境、労働環境の変化について説明できる	川勾
4	現代社会に内在する複合的課題	女性、子ども、若者の貧困問題について概説できる	川勾
5	社会保障の概念や対象及びその理念①	社会保障の概念と範囲について説明できる。	川勾
6	社会保障の概念や対象及びその理念②	社会保障の役割と意義について説明できる。	川勾
7	社会保障の概念や対象及びその理念③	社会保障の理念と対象について説明できる	川勾
8	社会保障の概念や対象及びその理念④	社会保障制度の歴史的変遷について説明できる。	川勾
9	社会保障と財政①	社会保障の財源について説明できる。	川勾
10	社会保障と財政②	社会保障給付費、社会支出について説明できる。	川勾
11	社会保障と財政③	社会保障と経済の連関について説明できる。	川勾
12	社会保険と社会扶助①	保険・扶助の概念と理論について説明できる	川勾
13	社会保険と社会扶助②	社会保険・社会扶助の概念と範囲について説明できる	川勾
14	公的保険制度と民間保険制度の関係①	民間保険の原理と種類について説明できる。	川勾
15	公的保険制度と民間保険制度の関係②	公的保険制度と民間保険制度の役割について概説できる。	川勾
16	社会保障制度の体系①/年金保険(1)	年金保険制度の概要について説明できる	川勾
17	社会保障制度の体系②/年金保険(2)	国民年金について説明できる	川勾
18	社会保障制度の体系③/年金保険(3)	厚生年金について説明できる	川勾
19	社会保障制度の体系④/年金保険(4)	企業年金と個人年金について説明できる	川勾

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
20	社会保障制度の体系⑤/労働保険(1)	労災保険制度について説明できる	川勾
21	社会保障制度の体系⑥/労働保険(2)	雇用保険制度について説明できる	川勾
22	社会保障制度の体系⑦/医療保険(1)	医療保険制度の概要について説明できる	川勾
23	社会保障制度の体系⑧/医療保険(2)	被用者保険について説明できる	川勾
24	社会保障制度の体系⑨/医療保険(3)	国民健康保険について説明できる	川勾
25	社会保障制度の体系⑩/医療保険(4)	後期高齢者医療制度について説明できる	川勾
26	社会保障制度の体系⑪/介護保険・公的扶助	介護保険制度と生活保護制度について説明できる	川勾
27	社会保障制度の体系⑫/社会手当	社会手当制度について説明できる	川勾
28	社会保障制度の体系⑬/社会福祉	社会福祉制度について説明できる	川勾
29	諸外国と日本の社会保障 諸外国における社会保障制度①	福祉レジームについて説明できる 先進諸国の社会保障制度の歴史と概要について説明できる	川勾
30	諸外国における社会保障制度②	社会保障制度の国際比較	川勾

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

- (1) 前期中間テスト(50%)、後期定期試験(50%)の総合100%で評価し、60点以上を単位認定の最低条件とする。
- (2) 社会福祉士国家試験科目であるため、評価は厳格に行う。
- (3) 学則の規程に基づく出席条件をクリアすること。ただし、成績評価には加味しない。

【教科書】

以下のテキストを使用するので、初回講義時までに必ず購入すること。

編著者／一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟『社会保障』中央法規出版

【参考書】

「厚生労働白書」 ※厚生労働省のHPよりダウンロード可

【備考】

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「社会保障」に該当する。

また、介護福祉士国家試験受験資格取得のための「社会の理解」に該当する。

教職課程（公民）では、教科に関する科目の「社会学、経済学（国際経済を含む。）」に該当する。

【学修の準備】

- (1) 日常的にニュースや新聞等のマスコミで報道される社会保障関係の情報をチェックし、社会情勢についても関心を持つこと。
- (2) 次回の授業で扱う内容について、キーワードを確認し、事前にテキストを読んでおくこと（2時間）。
- (3) 授業で提示する事前・事後課題(2時間)の学習を行うこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【実務経験】

社会福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

日々の生活をするうえで不可欠な社会保障の仕組みや各種制度に関しての基本的知識を講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している